

《令和4年度 高田東小の教育 グランドデザイン》

学校教育目標 「チャレンジ！なかよし！進んで学ぶ 東の子」

知

進んで学び
続け、考えを深め、
豊かにする子どもを
育てます。

徳

自他の違い
を認め合い、心豊か
に生きる子どもを育
てます。

体

心も体も健
康な生活を実践し、
自他の生命を大切に
する子どもを育てま
す。

公

地域とのつ
ながりを大切にし、
他者と協働して共に
生きる子どもを育て
ます。

開

持続可能な
社会の実現
に向けて行動し、多
様な変化に柔軟に対
応できる子どもを育
てます。

併設型小中学校の小中一貫教育
【テーマ】
「豊かな表現力の育成を目指し
て～情報化社会を生きぬく能力
を高めるための指導の実践～」

高田中学校ブロック
【9年間で育てる子ども像】
○自らすすんで学び続ける子
○仲間と協力して よりよい社
会の実現を目指す子



高田中学校

高田小学校

高田東小学校

学校運営協議会

【ねらい】
○地域の力を学校運営に導入する
ことを通じて学校運営の活性化
を図る。
○地域住民や保護者の参画によ
り、校長の学校経営を支援。
○外部講師やボランティアの依頼
等、地域の協力を得やすい環境
を構築。

地域学校協働本部

○3校の学校地域コーディネータ
ー代表が学校運営協議会に参加
することで、高田中学校ブロッ
クでの連携を図る。
○ボランティア活動、学習活動の
支援内容を検討し、地域の力を
学校教育活動に活かすための働
きかけを行う
※地域学校協働本部の役割とは。
○より幅広い地域の皆さんや団体
と学校との連絡調整を行い、緩
やかなネットワークを形成す
る。

教育目標達成に関する具体的指針

- 「子ども一人ひとりの個性や多様性を尊重し、つながりを大切にした教育」を目指します。
- 子どもたちが、主体的に学習に取り組む授業づくりを進めます。
 - 子どもたちが、安心して自分を表現できる学級風土づくりを進めます。
 - 子どもたちが、安全に、健康の保持増進と体力向上を目指して学ぶ健康教育を進めます。
 - 子どもたちが、持続可能な社会の実現に向かったり、自分の夢や目標に向かったりする取組を推進します。

授業改善

- 「進んでやる」「追求する」「思いを伝え合う」子ども
の育成を目指した授業改善
- 学力・学習状況調査の分析を生かした学習指導
の充実

いじめへの対応

- 月1回のアンケートによる早期発見と迅速な対応
- 道徳学習の充実による温かな学級風土づくり
- いじめ防止対策委員会での組織的な見守り体制
- 全教職員の感度を高める研修を充実
- 指導の意図を明確にした一貫共通した指導

人材育成・組織運営

- メンターチームでの教科領域の指導法、学級経営、児童理解等の継続的な研修
- ICTを活用した事務の効率化と全職員の組織的な働き方改革
- 教職員のキャリアステージに応じた校内外の研修の推進

中期学校経営方針における重点取組分野

人権教育

- 呼び方、挨拶・返事・言葉遣いの徹底
- 「聴く」ことを大切にされた指導
- ペア学年での活動の充実
- 委員会活動を充実

健康教育

- 体育学習の充実
- 芝生養生期間等の運動環境の工夫
- 「食に関する指導の全体計画」を整備
- 家庭との連携
- 児童会活動を通じた活動の推進

特別支援教育

- 子どもの様子や見とりの組織での共有
- ユニバーサルデザインでの学習環境
- 学年やブロックで協働した授業づくり
- Y-P アセスメントの効果的な活用
- 個別の指導計画や教育支援計画を活用
した特別支援の日常化

地域学校協働活動

- 児童・保護者が実感できる地域・中
学校ブロックでの連携・協働
- 地域の材の積極活用と適切な情報
発信
- 地域学校協働本部との連携
- 地域の方や保護者の教育活動への
参加推進による社会に開かれた教
育課程の実現

自分づくり教育

- 育てたい「基礎的・汎用的能力」の設定
- 自分づくり教育(キャリア教育)全体計画の作成
- 「自分づくり(キャリア)パスポート」の活用
- 独自教科の創設に向けた協議

GIGAスクール構想

- ICT 機器についてのルールの明確化
- ICT 機器を積極的活用
- 「多様な子どもたち一人ひとりに合った学び」と
「多様な他者と協働する学び」の充実

教育環境整備

- 破損個所の修繕等、環境整備の迅速な対応
- 職場環境の改善
- 安全管理マニュアル等の周知徹底
- 学校経営方針を踏まえた教育予算の執行

50周年記念事業の実施

教育活動の積極的な公開(授業参観・学校HP・学校便り等)、学校評価(「児童アンケート」「保護者の学校評価アンケート」「学校運営協議会での学校関係者評価」「教職員の経営計画の振り返り」)による教育活動の見直しと改善

学習指導要領

- ◇「社会に開かれた教育課程」の実現
- ◇新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実
- ◇新しい時代に必要となる資質・能力をふまえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し
- ◇「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善
- 【教育内容の主な改善事項】
- ・言語能力の確実な育成
- ・理数教育の充実
- ・伝統や文化に関する教育の充実
- ・道徳教育の充実
- ・体験活動の充実
- ・外国語教育の充実
- ・情報活用、プログラミング教育

横浜教育ビジョン2030

- ◇横浜の教育が目指す人づくり
「自ら学び 社会とつながり
ともに未来を創る人」

◇横浜の教育の方向性

- 「多様性を尊重し、つながりを大切に
した教育を推進します」
- 1 子どもの可能性を広げます
 - 2 魅力ある学校をつくります。
 - 3 豊かな教育環境を整えます。
 - 4 社会全体で子どもを育みます。

第4期横浜教育振興基本計画 (2022～2025)

- ◇3つの視点
「一人ひとりを大切に」
「みんなの計画・みんなで実現」
「EBPMの推進」

◇施策の柱

- 1 一人ひとりを大切にされた学びの推進
- 2 ともに未来をつくる力の育成
- 3 豊かな心の育成
- 4 健やかな体の育成
- 5 家庭・地域等の多様な主体との連携・協働
- 6 いきいきと働き、学び続ける教職員
- 7 安全・安心でより良い教育環境
- 8 市民の豊かな学び